



多様性を多様な視点で捉え、行動する ～京都大学と考えるD&Iセミナー～

開催日程：2022年3月10日（木）17:00～18:10

開催方式：オンライン（Zoomウェビナー）／定員：500名

参加費：無料

申込締切：2022年3月8日（火）17:00

以下、または右記コードよりお申し込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/780948d5161763>



主催：京大オリジナル株式会社 後援：フクシル株式会社

皆様の企業では、ダイバーシティ&インクルージョン（以下D&I）の取り組みをどのように進めていますか？

“従業員に浸透しない”“経営指標に現れない”といったお悩みをもつ企業も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

本イベントは、多様性を多様な視点で捉えることを大切に、京都大学の様々な分野の研究者に、その視点から見たD&Iについての考えを提示いただきます。

“多様な価値観をもつ従業員が一丸となってD&Iの取り組みをすすめるには、そもそも、その多様性を捉える必要があるのではないのでしょうか？”

“経営指標など経営上の論理だけでは、物事はなかなか進まないのではないのでしょうか？”…etc

そのような問題意識を持ち、多様な学問の視点からD&Iを見つめ直すきっかけになればと考え、本イベントを開催しております。

D&Iのご担当者様のほか、マーケティング、研究開発部門…などなど、多様なバックグラウンドをもつ皆様と一緒に思索できれば幸いです。

ご参加お待ちしております。

●プログラム

17:00 開会挨拶

17:03 講演1 積山 薫 教授

高齢期の脳を活性化する効果的な運動や楽器練習とは

17:23 講演2 古澤 拓郎 教授

『ダイバーシティ』を人類の進化と適応から考えてみる
～壮大な歴史と私達の隣人～

17:43 質疑応答

18:03 プロジェクト紹介

18:08 閉会 ※2分間のバッファがございます

●登壇者



積山 薫

(京都大学大学院総合生存学館 教授・学館長)
心理学と認知神経科学（MRIなど）の手法を用いて、人間の認知システムの可塑性について研究しています。総合生存学館の大学院生とともに、生涯発達とそれに応じた望ましい保育・教育・介護制度などのあり方について議論しています。研究と実践を兼ねて、コミュニティにおいて高齢者の認知機能低下予防に関する活動をおこなっています。



古澤 拓郎

(京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科 教授)
専門は人類生態学、国際保健学、地域研究。ソロモン諸島で約2年間のフィールドワークを行ったほか、パプアニューギニアやバングラデシュでも調査を行ってきました。現代の環境問題や健康問題を、人間の進化や適応という視点から研究しています。